

第5期 会長就任挨拶

石川島播磨重工業(株) 坂田 芳幸
(1969年卒)



この度、5月23日の第5回総会にてご推挙いただき、中山前会長から通機会第5期会長を引き継ぐことになりました。これからの4年間、通機会の発展に微力ながら尽くしたいと思います。

さて、本会も昭和56年に故石川二郎先生のご尽力により再建が図られ第一回総会がもたれてから早や17年を経ており、会員数も4000名を数えそれぞれ社会の中核で活躍される第一線のメンバーで構成されるまでになってきております。

この間に、学内においては機械系学科も社会のニーズ、科学技術の進歩に応じた改組、改称や博士課程の新設が行われ、また新M棟が完成し施設の統合、充実が図られるなどソフト面・ハード面共々大いに発展しています。

また、本通機会も会報の発行、会員名簿の維持・発行、Webページの開設、特別講演会の開催、田中榮基金の維持などの活動が着実に進められています。これらの関係者のご努力に敬意とともに感謝の意を表します。

今後の運営に当たりましてはこれらの活動を継続していくとともに、社会全体に閉塞感が漂い様々な流動化が進むなかで新たな挑戦を続けておられる会員の皆様の相互コミュニケーションを活発にし、本会を相互啓発の場として更なる充実を図り存在感のある通機会としていきたいと考えております。

そのためにも会員皆様の協力をお願いしながら、学内外での会員の活動やニーズ・提案などの情報を

インターネットの利用など様々な方法により収集・提供したり、学年幹事の皆様の核にしたネットワークを強化していくなど少しでも本会の活性化に役立つことを進めたいと考えております。皆様からの活性化アイデアをどしどし提案していただきたいと思っております。

今期は21世紀を迎えると同時に、本学創立80周年、通信機械工学科が設置されて以来の機械工学系学科創設40周年さらには通機会も20周年を迎えるなど様々な意味で節目の期となります。諸先輩が築いてこられた本会が一層発展しますよう、会員各位ならびに大学関係の方々の一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「第5回通機会総会」報告

副会長 小泉 博義 (1971年卒)

第5回通機会総会が、5月23日(土)に電通大東5号館241教室で開催されました。当日は、14:00から総会、「大学の現状・将来について」をテーマにした懇談会と、これに引き続き東5号館内の研究室見学、懇親会が行われました。総会には、卒業生・教員50名、在校生約20名、計約70名の会員の参加がありました。

総会では、第4期通機会事業・会計報告がなされ、報告どおり承認されました。中山会長はじめ学内外の幹事の皆様、4年間にわたり大変ご苦労様でした。また、これから4年間の通機会活動を支える第5期の会長に坂田芳幸氏(1969年卒業、現石川島播磨重工業)ならびに新役員が選出されました。次回の総会(2002年)は、通機会再発足20年に当たり、成人式を迎える「歳」になります。坂田新会長のもと、通機会の継続的な発展を期したいと思います。この機会に、通機会会員皆様のさらなるご協力をお願い申し上げます。

当日の通機会総会、懇談会、懇親会の内容は、次のとおりです。

通機会総会

はじめに、第4期副会長 石川晴雄氏から開会の辞があり、議長として灰塚正次氏を選出した後、梶谷誠先生より、本学科で前教授 石川二郎先生が、本年5月ご逝去されたことが報告されました。先生には、通機会の再興ならびに卒業生の名簿作成などに多大なお骨折りを頂きました。先生のこれまでのご尽力に対する感謝と会の発展を期して、全員1分間の黙祷をささげました。

ついで、第4期(1994年4月～1998年3月)会長 中山良一氏より挨拶がありました。その後、副会長 石川晴雄氏から、以下の第4期事業報告がなされました。

- ・幹事会が6回開催された
- ・田中榮賞の授与式が4回実施され、20名が受賞した
- ・通機会だよりが14号から18号まで5回発行された
- ・通機会会員数が、4451名(卒業生数3190名、研究室所属学生数304名、学部生数858名、教職員数46名、元職員数53)になった
- ・第5版の通機会名簿が7月に発行される予定
- ・特別講演会が2回開催された
- ・通機会のWebページ(URLは<http://www.mce.uec.ac.jp/tsukikai>)が開設された

続いて、学内幹事会計 金森哉吏氏から第4期の会計報告(別掲)ならびに会計監査 川橋正昭氏から監査報告がなされました。会計の用途、決算内容の妥当性について満場一致で承認されました。

ついで第5期役員改選が行われ、次の方々(第5期(1998年4月～2002年3月)の役員として選出されました。

会長	坂田 芳幸 氏 (1969年卒)
副会長	小林 信之 氏 (1971年卒)
	小泉 博義 氏 (1971年卒)
監査	沼田 博美 氏 (1979年卒)
	菅谷 正弘 氏 (1982年卒)

役員改選をうけ、新会長 坂田芳幸氏より、会の発展のため今後も会員のさらなるご協力をお願いしたいとの挨拶がありました。ついで新副会長小泉博義氏より、第5期の学内幹事と役務、および事業計画が報告されました。最後に第5期の予算案(別掲)が提案され、満場一致で承認されました。



懇談会

「大学の現状・将来について」をテーマに、梶谷先生から準備が進められている学科改組案の概要説明がなされました。現在、一般教育を担当している自然科学系列および人文社会科学系列が廃止され、それらの教員は下に示す7学科に所属することになります。教養・専門教育が有機的に機能するように、4年間の学部一貫教育のカリキュラムの改革などが計画されています。

現在の電気通信学部の5学科2系列は、以下の7学科に改組再編され、今後の高度情報化社会の要求に十分応えられる学内体制になることが期待されます。

- ・情報通信工学科
- ・情報工学科
- ・電子工学科
- ・量子・物質工学科
- ・知能機械工学科
- ・システム工学科
- ・人間コミュニケーション学科

現在の機械制御工学科は、以下の講座編成で知能機械工学科に移行する予定です。

- ・機械科学講座
- ・知的生産学講座
- ・ロボティクス講座
- ・人間・機械システム学講座

会場の参加者から予定時間をオーバーして熱心な質疑・応答がなされ、大変有意義な懇談会となりました。



懇談会終了後、学科内の研究室見学が行われました。当日は8つの研究室とロボメカ工房が公開され、活動内容について学生との間で活発な意見の交換が行われていました。

懇親会

懇談会・研究室見学の後、会場を新学会館3階の「レストラン ハルモニア」に移して懇親会が行われました。新学会館は、旧機械工学科の跡地に5月新装なったものです。

中山良一 前会長の挨拶の後、有山正孝 学長、元学長の田中榮先生からご挨拶を頂きました。ついで石川晴雄 機械制御工学科長の乾杯で、なごやかな懇談に入りました。この間、多数の卒業生の挨拶、在校生へのアドバイス等があり、歓談の輪が広がっていきました。また、卒業生の同窓会としての旧交を大いに暖める場ともなりました。在校生は参加費が無料のこともあり、卒業生に倍する参加者がありました。非常に活気ある卒業生と在校生が直接接触できる場となり、就職活動等のアドバイスを気楽に受けられる非常に良い機会となったようです。

最後に廣神三木雄 目黒会会長と坂田芳幸 第5期会長の挨拶に続き、一回生の日比進氏の万歳三唱で会を終了しました。



通機会第5期役員

(1998～2001)

会 長 坂田 芳幸 (69年)

副会長 小林 信之 (71年)、小泉 博義 (71年)

監査役 沼田 博美 (79年)、菅谷 正弘 (82年)

<学外幹事>

64年 大賀 寿朗	65年 下河 利行
66年 田中 英穂	67年 飯田 凡雄
68年 原 昶明	69年 坂田 芳幸

70年 清水 弘幸、益田 正	
71年 小林 信之	72年 門山 俣之
73年 中山 良一	74年 奥村 秀人
75年 金田 徳也	76年 市毛 嘉彦
77年 小林 伸太郎	78年 狩集 二郎
79年 菅野 正平	80年 雑賀 宏喜
81年 瀧澤 正和	82年 菅谷 正弘
83年 東木 達彦	85年 三宅 基夫
86年 石川 浩通	87年 中野 禅
88年 長崎 良樹、村上 賢治	
89年 植村 幸生	90年 饗庭 靖
91年 久木 達也	92年 大串 浩司
93年 仁科 雅弘	94年 片江 毅
95年 角屋 治	96年 長塩 知之
97年 名田 卓生	98年 鈴木 英之

<学内幹事>

64年 梶谷 誠 (会計、特別講演会)
65年 灰塚 正次 (名簿)
横内 康人 (通機会だより)
71年 小泉 博義 (庶務)
72年 村田 眞
石川 晴雄 (特別講演会)
74年 高松 徹
87年 金森 哉吏 (会計)
松村 隆 (名簿)
89年 結城 宏信 (庶務)
93年 森重 功一 (通機会だより)
95年 田中 孝之 (名簿)

記載年は学部卒業年